

地域と農業を結ぶ、ふれあいと鮮の発信源

Ag'resh 2

2021. VOLUME.131



10周年 感謝を忘れず、この先も共に

特集 親子で考えよう 農業の事業承継



JAは地域社会の
課題解決とともに、
SDGsの実現へ
貢献していきます。

「よい会プロジェクト」

腕じまん

地域じまんのモノ語り

「かだあ～れ」の和食の職人さんが教えるダシ香る鍋vol.1

ファーマーズ・マーケット「かだあ～れ」の職人さんに簡単にできるダシから作る鍋レシピを2品教えてもらいました。寒さや感染症に負けないように、たっぷりの野菜が入ったアツアツのお鍋で健康な体づくりをしましょう！



ピリッと温まる ガーリックポークの豚キムチ鍋

材料(3~4人前)

鍋ダシ

水	900cc
昆布	15g
薄口醤油	80cc
酒	45cc
みりん	45cc

お好みの具材

- ・ガーリックポークスライス肉・白菜
- ・寒メ小松菜・タマネギ・長ネギ
- ・カツイ (ナラタケ) 水煮・マイタケ
- ・ゴボウ・こんにゃく・豆腐・白菜キムチ
- ・ニンニクスライス(ドライ)

おいしいダシをとるコツ

その① 昆布に付いた白い部分を酒か水を含ませた布巾で軽く拭くことで昆布の香りアップ。

その② 鍋の底に葉物を入れることで焦げ付かず、野菜のうま味が広がります。



鮮魚担当:向井さん

作り方

1. 片手鍋に水と昆布を入れて火にかける。沸騰寸前に昆布を取り除く。
2. 1.に薄口しょう油、酒、みりん、お好みでキムチの素を入れて味を整えておく。
3. 土鍋に白菜、玉ねぎ、ささがき(したのゴボウ、こんにゃく、キノコ類、長ネギ、豆腐の順に盛り付ける。その上にガーリックポークを全体に敷き、刻んだ白菜キムチを中心にして盛り付ける。
4. 3.に2.で作った鍋汁を注ぎ入れ、ニンニクスライスを入れる。
5. 蓋をして全体に火が通れば完成。

「かだあ～れ」食育ソムリエさんより豆知識

豚肉には疲労回復効果のあるビタミンB群やタンパク質が豊富に含まれています。キムチには腸内環境を整える乳酸菌や食物繊維のほか、代謝を高めるカブサイシンも含まれているので、寒い冬にぜひ食べてほしい一品です。

直売課 かだあ～れ 情報

漁港から直送

横浜町産ホタテまつり開催

日時 2/21(日)・22(月)・23(火・祝) 9:00～18:00

新鮮でぶりぶりホタテが

1枚50円(税込)

お刺身やお鍋にもびったり

無くなり次第終了です。お早めに!!



かだあ～れ 営業時間 9:00～18:00

定休日 毎月第2水曜日

女性部横浜町支部が「道の駅
よこはま菜の花プラザ」で人気の
「菜の花ドーナツ」を販売します。
2/21・23の2日間。

店内の最新情報やお得な情報を配信します!
下のQRコードからチェック!



INADAREBBO

公式Facebook
JA十和田おいらせ

■令和3年2月9日発行 ■発行／十和田おいらせ農業協同組合 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集／JA十和田おいらせ 広報監修委員会 ■公式ホームページ <http://www.jatowada-o.or.jp> ■Email/soumu@jatowada-o.or.jp ■印刷／アート印刷



設計、組み立ても自分で考案

青森市から妻の実家がある十和田市へ移住、2017年から十和田市内で農業に従事している。自身の実家、青森市浪岡でもリンゴ10アールを栽培し、剪定や収穫の時期には何度も行き来する。収穫したリンゴは、JA直施設「かだあ～れ」などで販売している。

自作のビニールハウス300坪には現在、アスパラ菜200坪とスナップエンドウ100坪を作付けし、2月中旬からの収穫を待つ。「初めての作付けで、栽培管理など手探りだった。様々な冬野菜に挑戦していきたい」と意気込む。

営農の拠点を十和田市へ

実家が農家で高校卒業後、青森県立営農大学校で2年間学び2006年就農した。十和田市への移住は、双子の誕生などがきっかけになった。妻と2人、ビニールハウス90坪でミニトマトの栽培から始めた。

リンゴ栽培は、昔からの顧客がいるため、規模を縮小して継続している。一方、十和田市での営農を主とするため、ミニトマトの面積拡大に向け2020年5月、友人の助けを得ながら約6ヶ月かけて自作のビニールハウスを完成させた。自身が以前、サクランボ栽培で使用していたハウスを再利用。青森市と十和田市を何度も往復し、建設資材になるパイプなどを運んだ。



▲入り口を一つなぎした自作のビニールハウス

プロフィール…のろ けんた 十和田市内
組合員=本人
家族構成=妻、子(小4)、3歳の双子
農業経営=ハウス300坪…ミニトマト
冬野菜(アスパラ菜・スナップエンドウ栽培中)、
アスパラガス(露地)、リンゴ(青森市内)
かだあ～れ出荷会員



告知版

みんなの声を 聞かせてください ～地区別懇談会開催～

令和2年度事業活動の経過報告および組合員の意見・要望を今後のJA事業に反映させていくため、下記の通り地区別懇談会を開催します。

開催日：令和3年3月1日(月)～5日(金)

報告事項：1)令和2年度事業活動の経過について
2)令和3年度取り組み方針について ほか

開催日時			
開催年月日	開催時間	開催地区	開催場所
3月1日(月)	午前10時30分	大深内支店	大深内支店
	午後 1時30分	藤坂支店	藤坂支店
3月2日(火)	午前10時30分	横浜町支店	横浜町洗心閣
	午後 1時30分	むつ支店	むつ支店
3月3日(水)	午前10時30分	上北支店	上北支店
	午後 1時30分	七戸支店	七戸支店
3月4日(木)	午前10時30分	下田支店	下田支店
	午後 1時30分	ももいし支店	一川目コミュニティホール
3月5日(金)	午前10時30分	十和田湖支店	十和田湖支店
	午後 1時30分	三本木事業所	本店



コロナに負けるな！ 県産品応援 キャンペーン実施中



J A住宅ローン <2021年3月31日(水)>まで

期間中に住宅ローンをお借入れいただいたお客様に、
5,000円相当の県産農産物をプレゼント

J Aバンクローン <2021年4月30日(金)>まで

期間中、新規でマイカー・教育・多目的・フリーローンの
いずれかをご契約のお客様に

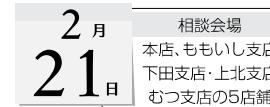
Aコース(つがるロマン2キロ)
Bコース(まっしぐら2キロ)、
Cコース(オアレンりんごジュース15本)



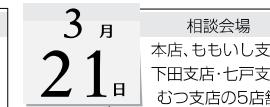
から1品プレゼント

※詳しくは、お近くの
金融窓口か、
こちらへQRコード

ローン相談会 每月第3日曜日 (本支店のご案内) 9:00～16:00



2月
21日
相談会場
本店、ももいし支店
下田支店・上北支店
むつ支店の5店舗



3月
21日
相談会場
本店、ももいし支店
下田支店・七戸支店
むつ支店の5店舗



特集 4～5p

親子で考えよう 農業の事業承継

継承人 3p

協同のチカラで ... 6～7p

組合員組織代表に聞く

NEWS&TOPIC

地域の話題 8～10p

あぐれっしゅ情報① 11p

ふれあい広場
頭の体操 パズル? 12～13p

Information 14～15p

腕じまん

地域じまんのモノ語り 16p

「かだあ～れ」の和食の職人さんが教える
ダシ香る鍋料理

JAの概況 令和3年2月1日現在
正組合員数/6,449人
准組合員数/5,320人
役員数/26人
職員数(准職・嘱託含)/277人
貯金高/829億7,924万円
貸出高/176億1,396万円

**農業機械・農業に関わる
設備資金等の相談も承ります。**
各種ローンを取り扱いしております。
会社員の方、自営業の方、JAとのお取引
がない方もお気軽にご相談ください。
各種ローンがネットで仮申込みできます。
申込み方法は「JAネットローン」で検索!!

実践!ステップを踏んで事業承継に取り組みましょう（事業承継ブックより引用、改変）

事業承継は継ぐ側、継がせる側が意欲的に取り組んでこそスムーズに進むことが理解できたでしょうか。そして実際に行動することが肝心です。

- | | | |
|--------|---------------|--|
| STEP.1 | 話し合いのルールを確認する | 親子で話し合う際のルールを作成し、協力しながら承継を進める土台を共有しましょう。 |
| STEP.2 | ライフプランを立てる | 農業に限らず「家族のこと」「お金のこと」について今後のライフプランを考えましょう。 |
| STEP.3 | 経営や実態を把握する | 資産や労働力、機械設備に何があるかなど、家の現在の農業経営の実態を知りましょう。 |
| STEP.4 | 事業承継タスクを整理する | 「人」「物」「お金」「情報」「顧客」を承継するために、具体的かつ実効性のある課題を考えましょう。 |
| STEP.5 | 事業承継計画を作成する | 着実に事業承継を実行できるように、「いつまでに」「何をするか」の10年計画を立てましょう。 |

大事なのは、両者がテーブルに着くところから

- 土地、農機、施設を引き継ぐことで初期投資が抑えられる
- 栽培技術のノウハウをから受け継ぐことができる
- 親が築いた顧客、地域からの信頼を引き継ぐことができる
- 長期的な視点で経営判断ができる
- 一番大事にしたいこと（経営理念・存在意義や誇り）を守ることができる
- 周囲の人々、親族、従業員、取引先、地域の人々が納得できる継承である

では話し合つたことはありませんが、生産面では「」の栽培のすべてを任せており、ナガイモ栽培も徐々に息子主導でやらせていくたいと考へています。ナガイモ栽培は、昔から親子でいたり親子でやったりの理義文化を私はから息子へ、元気なうちに引き継いでいきたいです。組合員移譲や譲り受け、當移譲はまだ先と考へていますが、その時は第三者（jh）からアドバイス・サポートしてもらえば助かります。

【第三者の協力が必要】
事業承継は親が元気なうちに行うのがベスト。事業承継のタイミングは、実は「今です」。親が亡くなつてから子が後を継ぐのは、事業承継というより相続です。考え方も根本的に違い、受け身になりがち。対して、事業承継は積極的に経営を引き継ぐ、という意志の表れであり、積極的な行動により、事業（農業）に取り組むやる気も違ってくるはずです。

とはいっても、いざ事業承継の話になると親と子では関係が近すぎることで、冷静に話が進まない、といったことがあります。そんなとき「オーラー役として当事者以外の家族の役割も重要ですが、第三者（JA）に介入してもいいこともあります。

指導員に相談する
寺澤和夫さん(58)祐介さん(34)親子



【第三者の協力が必要】

A photograph showing a red tractor and a smaller white vehicle in a field under a clear blue sky.

特集

親子で考えよう

農業の事業承継

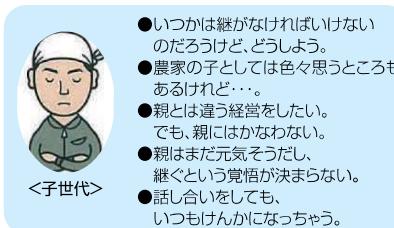
農業経営の承継について親子で話し合ったことはありますか。承継について考える
ことは早ければ早いほど良いのです。先延ばししても避けて通ることはできません。
この機会にしっかり考えましょう。

日本の農業と事業承継について考える

【避けて通れない事業承継】
事業承継とは、三言でいえば、組織の財産や人材・権利・義務を受け継ぐこと。農業法人でも集落営農組合・個人経営でも、全ての経営体で避けて通ることはできません。なぜなら、名義を変更すれば済むわけでもなく、農地や機械設備、現金・預貯金など目に見える物と、技術・取引先や地域の人との人間関係・經營理念や農家としての誇りなど目に見えないもののどちらも継ぐことになります。

農業に限らず、全ての經營体の選択肢は三つあります。それは(1)承継(継ぐ)、(2)売却(売る)、(3)廃業・置き換えです。これ以外に選択肢はありません。実際には、この決断を先延ばしにしていることが多いのですが、なぜでしょうか。その背景には、そもそもどうしたら農業經營を継ぐことになるのかといった承継の定義自体があいまいなことがあるようですが。

親世代、子世代でよく聞く声



「後から」では家族が困る

- 通帳・権利書・共済証書・契約書、発注書・請求書はどこ?
- 資材の購入先は?連絡先は?
- 機械の力士ははじょうじゅうやつ工房)をかけるの?
- あの田んぼは誰の?
- 預かっているの?いつまで?
- 借金があった。知らなかつた。
- お金のことが全く分かららないので、自分一人で管理する自信がない。
- 確定申告はいつまでにやるの?複式簿記(ふしきほき)って?
- 相続税、贈与税(そうよぜい)って何?
- 栽培(さいばい)だけでも手いっぱい販売(はんり)はどうしたらいい?
- 子育てで忙しくて奥さんも手伝ってくれないし…。
- 消防団も地域の祭りも自治体の役員も…。
- わからぬことばかりの状態で本業の仕事をやりながら引き継げるのか?
- 種まきは待ってくれない。収穫も待ってくれない。

【避けて通れない事業承継】

【日本の農家の現状】
2017年以降、団塊世代（1947～1949年生まれ）が70歳を迎えて、一気に世代交代が進むと同時に離農も進むと予想されます。JAの正組合員も70歳以上が全体の46パーセントを占めています。
国が力を入れている農業法人は増えてはいるものの、全体の割合としてはまだ低く、離職率約4割というデータも出ています。新規就農者数は増えていますが耕作放棄地の増加に歯止めがかからない状態です。だからこそ全国の農家で事業承継の取り組みを進めしていく必要があります。

「後から」では家族が困る

資料・JA広報通信

組合員組織とは… 生産組織・協力組織があります。生産組織は生産・販売事業の根幹を担う組織です。協力組織はJAを核とする社会貢献活動を実践している組織です。



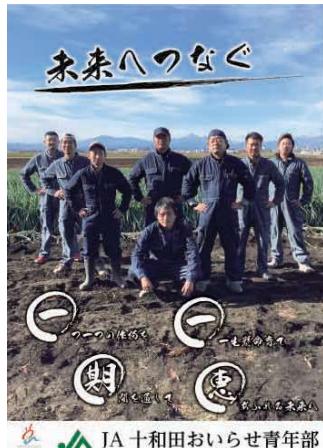
野立て看板▶
2019年度手づくり看板コンクールで
最優秀賞作品(三本木支部)



ポスター制作

①本部／②未来へつなぐ

③普段、消費者が食べている農産物は、私たちが、優しさと情熱を注いで一生懸命育てた「宝物」。この「宝物」を未来へつなぐため、同じ地域の仲間と農業の魅力を発信し、次代を担う若手農業者の確保や地域農業をさらに発展させたいという想いで作成しました。



①藤坂支部(四和分会)／②農業令和維新

③新しい時代の幕明けとともに、今までの農業を変えたいという意気込みを込めました。私たちは、地域農業をけん引していく者として、また国の礎を支える者として常に走り続けます。



①十和田湖支部／②未来へ繋ぎたい、この大地

③十和田の自然豊かな大地や特産物を、これからの方へ繋いでいく決意で作成しました。



①上北支部／②未来へ繋ぐ地域農業

③『かっこいい魅力ある農業』をアピールし、上北の豊かな大地と、おいしい特産物を次世代へ繋いでいきたいという想いで作成しました。



協同のチカラで 組合員組織代表に聞く

Vol.4 青年部

青年部は、JAをよりどころとして地域農業の振興を図る農業青年の集まりです。農業の担い手として農業振興を図るとともに、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域に根差した社会貢献に取り組んでいます。時代を開く青年の情熱と協同のチカラで、新しいJA運動を探求し実践しています。



青年部長（上北支部長）

佐々木 祐輔さん(36)

青年部活動について

次世代を担う青年農業者の育成のほか、地域のイベントへの参加や食育活動などをとおして、地域貢献活動にも力を入れています。管内の若手農家が一齊に集う「若手農業者パワーアップ大会」では、地域を超えた仲間づくりの場を提供してもらい、あらゆる情報交換することで日々の生産意欲を高めています。

今年1月には初めて、JA全青協主催の「カッコいい農業」をPRするポスター作り(P7へ記載)に挑戦。コロナ禍で自粛が続くなか、仲間との久しぶりの活動は嬉しい活力がわきました。

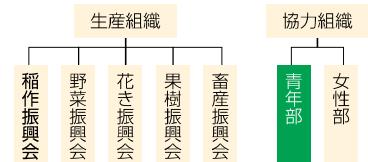
どんな困難な時でも一歩踏み出さなければ何も変わりません。仲間と一緒に今できることを積み重ね、地域農業を未来へつなげていきたいです。

経営規模(家族経営)

ニンニク2.5ha、ナガイモ2.5ha、ハウスアスパラガス250坪、水稻7.5ha。
20歳の就農を機に青年部へ加入。2018年度から本部青年部長を務める。

青年部(238人)

三本木支部…(33人) 十和田湖支部…(25人)
大深内支部…(64人) 七戸支部…(26人)
藤坂支部…(68人) 横浜町支部…(9人)
上北支部…(13人)



支部活動

- ◆十和田市秋まつり
- ◆支店ふれあいまつり
- ◆野立て看板の作製



十和田市秋まつりで管内の農畜産物PR

食農教育

- ◆田植え
- ◆餅つきなど



小学生に田植え指導



青年部七戸支部のもちつき隊が町のイベントに参加